

令和4年第2回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和4年2月17日 午後1時30分
- 2 閉会 令和4年2月17日 午後3時30分
- 3 会議に出席した委員
鈴木欽也教育長、高崎佐智江教育長職務代理者、金田真也委員
太田孝雄委員、天野千栄子委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 増山禎之
教育総務課長 大羽浩和
学校教育課長 近藤智彦
生涯学習課長 山田正勝
スポーツ課長 粕谷幸充
文化財課長 天野敏規
図書館長代理出席 館長補佐 朽名香澄
教育総務課教育総務係長 彦坂幸子
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第2回定例会議事日程

日 時 令和4年2月17日(木)

午後1時30分

場 所 南庁舎4階 政策会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議 題

(1) 令和3年度一般会計教育費補正予算について

(2) 令和4年度一般会計教育費予算について

(3) 田原市文化財の指定について

追 加(4) 市議会提出案件(田原市池ノ原会館の指定管理者の指定について)に対する意見について

追 加(5) 市議会提出案件(田原市華山会館の指定管理者の指定について)に対する意見について

4 報告事項

(1) 教育委員連絡報告事項

(2) 小中学校への寄附について

開 会 午後 1 時30分

教育長

ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達しておりますので、令和4年田原市教育委員会第2回定例会は成立いたしました。これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、高崎委員と天野委員のご兩名を指名させていただきますのでよろしく願いいたします。

教育長

それでは議題に先立ちまして、教育長報告をさせていただきます。1月21日から愛知県にまん延防止等重点措置が出されました。それによりまして、予定されていたイベントや会議の多くが中止となりました。

オミクロン株は子どもへの感染がしやすいということで、感染の広がりを心配しているところであります。

市内の学校でも学級閉鎖、あるいは学校閉鎖というようになった学校も複数校あります。そのような状況ではありますが、各学校では感染防止の徹底を図りながら、何とか教育活動を維持できるように子ども達の学びを止めないように努めているというように伺っております。何とか今の状況を乗り切れるようにしたいなというように考えているところでございます。

それでは、行事等についていくつか拾いだしてお伝えさせていただきますと思います。

今回も表敬訪問がありましたので、そのことからまずお伝えしたいと思います。

1月26日に名経大市邨高校2年生の河辺さん。田原市出身でバドミントンの全国大会に出場が決まったということで報告に来てくれました。8月にも国体の選手に選ばれたということで報告に来てくれたのですが、残念ながら国体そのものが開催できなかったものですから、そのときは報告のみということだったのですが、今度は実際に大会が何とか開催できる見込みでありますので、頑張ってもらえるといいなと思っております。

1月31日、童浦小学校6年生の寺島くんが訪問してくれました。童浦のスポーツ少年団で野球をやっている子ですが、野球が大変上手だということで中日ドラゴンズのジュニアチームへ選抜されて、NPB 12球団ジュニアトーナメントで中日ジュニアが優勝したということで、報告にきてくれました。キャッチャーをやっているということで、チームの中でもとても活躍して、存在感を示しているということでございました。

先ほどの河辺さんも寺島くんも、夢に向かって真っすぐに努力をしている、力いっぱい頑張っている姿が、報告を受けていて気持ちよかったなというように思っております。部活動のあり方等について、非常に難しい時期に来ていて、いろいろ考えている中ではありますが、こういった目標をもって真っすぐ頑張っている子ども達を今後大切にしていっていったことなのかなというように、そんなこともまた思った次第でございます。

2月9日、福江市民館が文部科学省の優良公民館表彰を受けられたものですから、福江市民館の館長に、お預かりしていました表彰状をお渡しさせていただきました。福江市民館が子どもからお年寄りまで幅広い世代が共に活動、活躍する場をつくっており、地域に元気を届ける明るい市民館を目指しているという、そういった活動が評価された受賞ということでした。

そのほかのこととしまして、戻りますが1月28日、東三河消防職員意見発表会が田原文化会館で開かれました。東三の5市が参加する意見発表会で、今年は田原市が会場となったということで参加いたしました。本来なら大勢の聴衆の前で意見発表をするという貴重な機会だったのですが、今回は無観客で行われました。

各市の発表会で優秀賞を取られた方が2名ずつ、合計10名が発表を行いました。皆さん優秀賞を取られて出てきた方ということで、すばらしい意見発表ばかりでございました。

自分たちの業務やそれに対する取り組み方、さらに、それについていかに真剣に考え、向き合うかといったことが試されている機会にもなっているのかなということを感じました。今回は、消防職員という職種の方の意見発表会だったわけですが、ほかの職種についてもこういった、今自分が取り組んでいる業務に対して真摯に向き合い、今後のことを考えていくのかといったことというのは共通して言える大切なことかなということに改めて思った次第であります。

今回講評をさせていただいたものですから、発表された方々がすばらしい意見発表者であった、それ以上にすばらしい消防士であったということを私は強く感じたものですから、そのことをお伝えさせていただきました。

2月8日、三河部都市教育長協議会が安城市で開催されました。愛知県教育委員会などからの連絡依頼や情報提供や、来年度の協議会の組織などについても協議がなされて、新年度から組織を編成してやり直していくというようなことが話し合われました。

以上、教育長報告とさせていただきます。

今の報告につきまして、ご質問等ありましたら受けたいと思っておりますがいかがでしょうか。

教育長

それでは、ご質問もないようですので教育長報告事項を終わります。

それでは、これより議題に入ります。

初めに、議案第1号「令和3年度一般会計教育費補正予算について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

教育総務課長

それでは、議案第1号「令和3年度一般会計教育費補正予算について」ということで、3月補正の内容等を提案させていただきます。

3月補正は、基本的に緊急的な事業に加え、その年度に予定していた事業の入札残であるとか、費用が少なく見込めそうなもので、100万円以上のものについては基本的に減額補正するというので、各課計上をしてございます。この後、各課順番に説明いたします。

まず初めに、教育総務課でございます。

1ページ、義務教育振興事業です。豊橋市立特別支援学校の運営費の負担金が当初予定していたよりも846万円ほど少なくなることによって減額するものでございます。

4ページ、高等学校等生徒支援事業です。

こちらにつきましては、高等学校のバス通学定期券購入の助成金につきまして、当初予算より850万円ぐらい少なくて済みそうだということで減額をするものでございます。

7ページ、小学校管理運営事業です。こちらは、2億6,513万8,000円の増額となります。

理由につきましては、福江小学校の北校舎教室棟の長寿命化改修工事を来年度行いたいと思います。

工事の監理業務、仮設校舎の整備、校舎の改修工事を合わせまして2億6,723万3,000円になります。こちらにつきましては、国の補正予算で補助金がつきましたので、3月で補正をさせていただいて次年度に継続していくものです。実質の工事は来年度になってくるかと思えます。そのほか、入札等による不用額等を整理させていただきます。

11ページ、小学校情報教育整備事業です。入札残により減額するものです。

14ページ、中学校管理運営事業です。こちら増減ゼロになっていまして、学校保健特別対策事業補助金が240万円ほど入りましたので、財源の構成をするものです。

17ページ、中学校教育扶助事業です。要保護、準要保護の生徒数の増減に伴い200万円ほど減額する予定です。

20ページ、給食センター給食物資購入事業です。

新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言等が出され学校行事が中止になって、通常授業となり給食を食べる機会が当初の計画より増えたため、760万円ほど増額する計画になっています。

学校教育課長

また、今年度一度も台風による休校というのがなかったものですから、そういったものも原因としてございます。

26ページ、継続費見積書をご覧ください。

先ほど少しお話ししました福江小学校の校舎改修の計画で、継続費というのを組みます。事業費ですと仮設校舎賃借料が9,000万円、監理委託料が1,100万円ほど、工事請負費は3億4,400万円ほどかかります。これを令和3年度の今回補正する分と来年度、再来年度の計3カ年かけて継続して会計上は実施していくというような形の表でございませう。工事は実際には、令和4年度と令和5年度にかけて実施することとなります。

以上で教育総務課の説明を終わります。

続けて学校教育課です。

資料の学校教育課の1ページ、学校教育推進事業です。こちらは132万円ほどの減額になります。新型コロナウイルスの関係で、水泳、バスケットボール、新人戦などの大会行事中止によって事業費が減少したことで、その分を減額するものであります。

4ページ、小学校教材購入事業です。こちらは577万円の減額です。

GIGAスクールで導入したタブレットのICT機器に係るサポート業務の入札について、その入札の金額が減になったということでその分減額させていただいております。

7ページ、中学校教材購入事業です。こちら先ほど小学校教材購入事業と同様の理由で、400万円ほどの減額補正になっております。

歳入の要求書をご覧ください。1,200万円の減額となっております。こちら学習指導員の配置事業の補助金を1,735万円ほどと予算で見込んでいたのですが、交付決定額が517万円ということで、その差引き分の減額となっております。

学校教育課は、以上となります。

生涯学習課長

続きまして、生涯学習課です。

生涯学習課の1ページ、児童クラブ運営事業です。

こちらは400万円の減額です。会計年度任用職員の報酬について実績に応じて減額するものですが、放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業というのがございまして、保育士や児童クラブの指導員の報酬について、一律3%程度上げなさいよというのが国のほうから示されました。これに対応するために新たに2月、3月分に児童クラブ運営事業につきましては、24万6,000円が必要となりましたので、差引きして375万4,000円の減額補正でございませう。

4ページ、放課後子ども教室運営事業です。

こちら先ほどと同じように、2月、3月分に新たに15万円が必要となったため差引きして385万円を減額したものでございませう。

歳入の1ページをお願いします。歳出の減額に伴って歳入につつま

スポーツ課長

しても減額をするものでございます。これは、大体計算をしますと、3分の2掛け入ってくる率というのがございまして0.7ぐらい掛けた金額で計算してございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

スポーツ課です。

1 ページ、スポーツ大会支援事業です。合計額といたしましては、1,154万9,000円の減額となります。内容につきましては、サーフィン全国大会補助金の100万円、トライアスロン伊良湖大会補助金の1,100万円、渥美半島駅伝競走大会負担金の100万円が減額。併せまして、ふるさと応援寄附金積立金というのがございまして、これはトライアスロンに出る方にふるさと納税をしていただきまして、そのふるさと納税の145万1,000円を基金に積立てをするものです。

トライアスロンの伊良湖大会の関連の資料がつけてございまして、後でご覧になっていただければと思ひます。

以上でございます。

教育長

事務局の説明が終わりました。

たくさんありましたけど、ここまでの説明につきまして何か御質問等ありましたらお願ひします。

太田委員

コロナの関係で、全国各地でマラソン大会等、一般の方が参加するような大会が中止になっている場合が多いですが、参加費については返金がされないという話も聞いたのですが、田原市の大会の場合、返金はどうなっていますか。

スポーツ課長

まずトライアスロン伊良湖大会については、参加費からかかった経費を除いて、残りの分について選手それぞれにお返しをしております。先ほどの最後につけさせていただいた、収支決算書の資料をご覧ください。一番下の欄に返金額があります。Aタイプ返金1万1,000円、Bタイプ返金9,000円、この額が、参加費からかかった経費を除いた分の金額でございます。

太田委員

Aタイプですと2万8,000円の参加費に対して1万1,000円返金したということですね。

スポーツ課長

そのとおりでございます。

太田委員

他市町の対応はどうか。

スポーツ課長

それぞれの市町で対応はまちまちです。実は、トライアスロンについてもこの令和3年度については、このような形を取りましたけど、令和2年度のときには補助金を投入して選手の方には全てお返ししたというようなやり方でした。

教育部長

当日中止と、事前中止で対応が違うということ。

太田委員

キャンセルと一緒にですね。

教育長

そのほかいかがでしょうか。

そのほかご質問も特にないようですので、お諮りいたします。

教育部長

議案第1号「令和3年度一般会計教育費補正予算について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

ありがとうございます。

では、ご異議なしということで、議案第1号につきましては原案どおり可決いたしました。

次に、議案第2号「令和4年度一般会計教育費予算について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

議案第2号「令和4年度一般会計教育費予算について」令和4年度一般会計教育費予算については、別添によるものとする。令和4年2月17日提出、教育長名ということでお願いいたします。

令和4年度の予算にしましては、これまで要求段階で説明をさせていただいたところですが、年明けに内示をいただいて、復活要求等を経て、2月16日に記者発表をした次第でございます。

田原市の予算(案)抜粋となっている資料をご覧ください。

今回の予算のテーマとしましては、「新たな価値により未来へステップアップ予算」というキャッチフレーズでやっているわけでございます。

令和4年度の市の予算、一般会計の要求額は284億8,000万円となっております。令和3年度の当初予算額は276億3,000万円ということで、8.5億円ほど増加をしています。これは、法人市民税が令和3年度予算見込額と比較しますと、12億円ほど増収が見込まれているということもございますが、いずれにしても今後も厳しい予算というのは続いているということです。増えたのもこれまで継続した大規模事業などを継続して行っているものですとか、やはり将来を見据えたまちづくりをするために投資すべきところは投資するというような予算になっております。

新年度は「住んでみたい・訪ねてみたいまちづくり」、「住み続けたいまちづくり」、「未来につながるまちづくり」の3つの重点施策に基づきやっているわけですが、教育分野については、「住み続けたいまちづくり」という分野の中に入っております。また、今いろいろな全国の自治体で取り組んでおりますDXですとか、ゼロカーボンの施策というのは、未来につながるまちづくりということで、こちらのほうも今年度強化をしているところでございます。

来年度、教育費は全体の比率でいきますと11%というような比率になっているところでございます。後は参考でございますので、また見ておいていただければというように思います。

それでは今度は、令和4年度の予算要求調書集計表をご覧くださいと思います。こちらのほうが教育費の令和4年度の予算になりま

す。

令和3年度予算が27億2,410万円、本年度につきましては26億2,079万円という予算になっております。プラスマイナスの比較ということになりますと、1億331万円減ということになります。

それでは、各課のほうからの説明をお願いいたします。

それでは、教育総務課からお願いしたいと思います。

最初に1ページ、教育委員会運営事業です。

教育委員会運営事務につきましては、来年度も今年度並みに予算要求事業等を実施していく予定をしております。

下段、義務教育振興事業です。金額は4,453万4,000円です。こちらの中で、インストラクターを用いた水泳授業、プールの集約化に向けた実証調査の実施をしていく予定をしています。

2ページ上段、部活動奨励事業です。こちらも今年度と同額を要求しております。

下段、高等学校等生徒支援事業です。こちらについては1,836万円、今年度が2,500万円ほどですので、若干少なく要求をさせていただいております。

3ページ上段、小学校管理運営事業です。事業費は1億9,754万4,000円です。主な事業としまして、再来年度以降、清田小学校の体育館改修工事を行いますので、それに関する設計業務がございます。

工事としては、遊具等の改修工事、神戸小学校のエレベーター改修と合わせて、多目的トイレの改修工事を行いたいと思います。

併せて、先ほど3月補正で、福江小学校長寿命化関連で2億6,000万円ほどの補正についてお話をしたと思うのですが、実際事業としては来年度行いますので、予算上は令和3年度の補正予算を繰り越して来年度に実施する予定をしておりますので、ご了承いただきたいと思っております。

下段、小学校情報教育整備事業です。事業費5,787万円、今年度並みに予算を確保しております。

4ページ、小学校管理運営事業の各小学校配当予算です。予算額は5,708万5,000円、今年度予算は、8,768万1,000円と3,000万円ほど減額になっております。その主な理由ですが、これまで各学校の用務員さんの賃金をこちらの事業で計上していましたが、来年度から学校教育推進事業に移したことによるものです。事業費としては減額されておりますけど、実質的には今年度も来年度も、各学校で事務用品を買ったり、あるいは小さな修繕をしたりだとか、そういったような事業費に変わりはありません。

5ページ上段、小学校教育扶助事業です。事業費は1,565万1,000円、こちらにつきましても今年度と同様の額となっております。

下段、小学校特別支援教育就学支援事業です。事業費235万7,000円、

学校教育課長

こちらもおおよそ今年度と同額を要求させていただきます。

6 ページ上段、伊良湖岬小学校整備事業です。今年度で整備が完了いたしますので、こちらは削除になります。

下段、童浦小学校整備事業です。これは来年度新たに追加された事業です。主な事業内容の欄をご覧ください。屋内運動場を建て替える計画と、校舎の2棟につきましては、大規模改修というような予定をしております。体育館の改築につきましては、来年度から基本設計と実施設計を行いながら、令和6年度末の完了を目指して事業を進めていくということと、校舎の改修につきましては、令和5年度から設計に入って、令和7年度末には完了したいというように思います。

7 ページ上段、中学校管理運営事業です。事業費1億3,504万円、こちらにつきましては、今年度と同額程度でございます。

下段、中学校情報教育整備事業です。事業費1,714万9,000円、こちらにつきましてもほぼ今年度と同額でございます。

8 ページ、中学校管理運営事業の学校配当分の予算でございます。こちらにつきましても用務員の人件費につきましては減になりますけど、内容的には本年度と同様の事業を行いたいというようには思っております。

9 ページ上段、中学校教育扶助事業です。事業費1,770万7,000円、こちらにつきましても本年度と同額程度になっております。

下段、中学校特別支援教育就学支援事業です。事業費177万1,000円、こちらにつきましても本年度と同額程度を予定しております。

10 ページ上段、食センター運営事業です。事業費4億7,676万4,000円です。こちらにつきましては、P F I の委託料が全てでございます。15カ年決まっておりますので、本年度同額程度になるかと思っております。

下段、給食センター給食物資購入事業です。賄い費の事業でございますが、2億6,347万4,000円、こちらにつきましても今年度より若干多めに見積りながら、大体は去年と同程度ということで、ご理解いただきたいと思っております。

以上で、教育総務課についての説明とさせていただきます。

学校教育課です。11ページから行きます。

11 ページ、教育統計調査事務につきましては、本年度と同額になります。

12 ページ上段、学校教育推進事業です。こちらは前年度9,842万1,000円から、約3,400万円程度増額になっております。この増額の理由は先ほど教育総務課からも説明がありましたが、学校用務員の配置について、こちらの事業に移管になったため、その額が主な増額の理由になります。

学校司書、非常勤講師、部活動指導員等につきましては、本年度と同等の配置をしていただけるよう予算が、内示が下りましたので、あ

りがたいと思っております。

下段、国際理解教育推進事業です。こちら若干事業の精査により予算を減額しておりますが、ALTについては本年度と同様、ジョージタウン市からの1名、派遣委託で2名、合計3名で外国語教育を進めていきたいと思っております。

13ページ上段、教育サポートセンター事業です。こちら昨年から60万円ほどの増額になっているわけですが、教育サポートセンター内の教育相談員、適応指導教室運営員、教育支援コーディネーター、メンタルフレンド、カウンセラー、事務職員等は、人数を減らすことなく本年度と同様に来年度も配置していただくように予算化しております。特にメンタルフレンドにつきましては、本年度から常時2人態勢で、学校に登校できない子ども達の対応に当たるようになりましたので、引き続き来年度も行っていくように考えております。

下段、教員研修事業です。こちらは、ほぼ今年度と同額になっております。

14ページ上段、共育推進事業です。こちらは昨年度から570万円ほどの減額になっております。その理由としましては、一つは学習指導員の人数について、毎年小学校1年生や特別支援学級で必要になる数字を精査して決めており、本年度から2名少なくとも対応できるということで、その分の減額になっています。

また、旅費について、来年度人事課から一括で支払うということになりまして、その分減額になっております。

下段、児童・職員健康管理事業につきましては、人数で決めているものでありますので、例年どおりということで予算化してあります。

15ページ上段、小学校教材購入事業です。こちらは、昨年度と予算額については、ほぼ変わりはないですが、中身につきましては少し変更がございます。一つは導入していただいたタブレットについて、本年度で保証期間が切れるということで、来年度からはその修繕費を予算化していかなければならず、その分が増額になっていることと。あと先ほど補正のところでも挙げさせてもらったことにつながるのですが、ICTサポートデスクの業務の長期継続契約委託料について、長期継続することによって入札額が減った分が少し減額になっております。また、DXの予算として、授業環境高度化機器ということで、オンライン授業やWeb会議等をするときに必要なカメラ、スピーカー等の購入費302万円ほどを来年度計上しております。

下段、生徒・職員健康管理事業になりますが、こちら本年度と同じように人数で予算化しております。

16ページ、中学校教材購入事業です。こちらは、先ほどの小学校で説明させていただいた事業の中学校分になります。昨年度予算との相違点についても、先ほどの小学校と同じになるのですが、さらにこち

らにつきましては、新学習指導要領により、本年度整備が完了しました教師用の教科書費が830万円ほど来年度は必要なくなりましたので、減額になっております。

なお、事業の中には省かしていただいておりますが、海外交流につきましては、来年度も新型コロナウイルスの関係で中止をさせていただくということで予算には計上してございません。

以上で学校教育課の説明を終わります。

生涯学習課です。

まず、資料の最終ページ、社会教育施設等新型コロナウイルス感染症対策というページをご覧ください。

こちらを最初に説明させていただきます。こちらは、社会教育施設等の新型コロナウイルス感染症対策に伴う予算として、屋内トイレの洋式化、手洗い場の自動水栓化につきまして説明しているものです。目的としましては、新型コロナウイルス感染症対策として、トイレの洋式化及び手洗いの自動水栓化を行うことにより、施設における感染リスクの低減を図るものです。対象となる設備につきましては、市民館、ふるさと教育センター、田原文化会館等の施設、渥美文化会館、崑山会館等です。予算参考資料でも各事務事業の中で、新規事業として記述がございますが、ここでまとめさせていただきます。

では、生涯学習課の最初に戻りまして、17ページ上段、児童クラブ運営事業です。新規事業としまして、民営児童クラブ開設に伴う運営補助とあります。これは、田原グローバル専門学校で開所予定の民間児童クラブ運営補助でございます。

もう一つ、学童システム試験導入です。このシステムの導入によって、指導員や児童の入退出管理、あと専用アプリを用いた保護者連携の強化、さらには全施設の情報を一元管理することが可能となりまして、事務作業をスマートに改善する効果が期待されます。学童施設につきましては、まずは2カ所に絞って試験運用し、有用性を検証し、他の施設への展開を図ることを検討しているところです。

下段、放課後子ども教室運営事業です。新規事業としましては、亀山校区に放課後子ども教室開設に係る費用を計上してございます。放課後子ども教室につきましては、実施要綱で、5人以上の利用の見込みがある場合には、放課後子ども教室を開設するものとされております。亀山校区につきましては、来年度の利用についてアンケートを実施したところ、5人以上の利用希望があり、令和4年度について急遽開催する必要となったため計上するものです。

18ページ上段、社会教育推進事業です。こちらは、昨年度と同等の予算と内容となっております。

下段、青少年健全育成推進事業につきましても、昨年より多少額は減っておりますが、事業内容、予算等はそんなに変わっておりません。

19ページ上段、成人式運営事業です。昨年、今年と2会場、3部制で開催しておりましたが、来年の式典は田原会場2部制ぐらいでできたらなという予算計上になっております。そのため、2会場3部制よりも少し削減した金額となっております。

下段、生涯学習講座等開催事業です。こちらにつきましても予算と内容につきましては、大きな変更等はございません。

20ページ上段、ふるさと教育センター運営事業です。こちら、昨年よりも500万円弱ぐらい増額となっておりますが、新事業にございましており、トイレの洋式化、手洗いの自動水栓化の工事に伴うものです。

下段、家庭教育推進事業です。昨年54万円だったものを60万円に増額してあります。これは家庭教育啓発講演会講師謝礼について、今年度9校だったのを12校に増やしたことによるものです。なぜ3校増やしたかと言いますと、昨年改訂しました生涯学習振興計画のアクションプランの中で、9校から3校増やすという目標にしておりますので、それに伴い3校増やした予算を要求してございます。

21ページ上段、芸術文化振興事業です。こちら新規事業としまして、地域住民のためのコンサートの開催がございまして。

これは、三井住友海上文化財団が行う地域住民のためのコンサートが採択されまして、コンサート開催に伴う諸経費、例えば印刷物作成事業だとか、あと著作権使用料、あと舞台業務委託料等の計上のため、昨年よりも60万円程度増額がございまして。

下段、市民館運営事業です。市民館運営事業につきましては、新規事業としましては、東部市民館の空調改修工事、それと先ほどもありましたトイレ洋式化、手洗い場の自動水栓化の改修工事を行います。

そのほか、各市民館の不具合箇所などの緊急修繕工事や修繕を実施するものでございます。

22ページ上段、田原文化広場運営事業です。こちらにつきましても新規事業でトイレの洋式化改修工事の計上がございまして。

下段、赤羽根文化会館運営事業です。こちらにつきましては、特に予算だとか事業内容等大きな変更等はございません。

23ページ上段、渥美文化会館整備事業です。屋上防水工事としまして、1億円の計上がございまして。渥美文化開館側と渥美図書館側の屋上防水工事に係る工事請負費となっております。

下段、江比間野外活動センター運営事業です。新規事業としまして、歩道橋撤去設計業務の計上がございまして。江比間野外活動センター歩道橋は、1977年に架設されて44年が経過します。歩道橋の歩行面は、ウレタンコーティングされていまして、腐食の具合が大変確認しづらく、立地的にもかなり塩害を受けやすい場所に立地してございまして、耐用年数は他の歩道橋と比べてかなり早いものと考えております。

また、一般的な歩道橋も耐用年数は45年程度となっておりますので、

共同経営しています豊橋市と相談して撤去する方向で今進んでいて、その設計業務委託料の計上がございます。

24ページ上段、総合体育館運営事業です。新規事業としまして、トイレの洋式化改修工事の計上がございます。

下段2、渥美運動公園運営事業です。こちらと同じくトイレの洋式化、手洗いの自動水栓化改修工事がそれぞれ計上してございます。

そのほか特に大きな変更等はございません。

25ページ上段、中央公園スポーツ施設運営事業です。こちらにつきましても、大きな変更はございません。少し管理費等を精査して、多少減額となっておりますが、現状維持でございます。

下段、緑が浜運動公園運営事業です。こちらもトイレの洋式化、手洗いの自動水栓化改修工事の計上がございます。

26ページ上段、滝頭公園スポーツ施設運営事業です。こちらも昨年と事業内容、予算等大きな変更等はございません。

下段、白谷海浜公園陸上競技場運営事業です。新規事業としましては、陸上競技場の走路修繕工事の計上がございます。これは、傷みの激しい走路5カ所を選定しまして、舗装修繕を行い、利用者の安全確保を図るものでございます。金額的には979万円を見込んでおります。

27ページ、赤羽根文化広場運営事業です。こちらもトイレの洋式化、手洗いの自動水栓化工事の計上がございます。

下段、地域運動公園運営事業につきましても予算、事業内容等大きな変更等はございません。

以上でございます。

スポーツ課です。

スポーツ課は、5事業でございますけれども、昨年の事業費ベースですが、全体で154万8,000円ほど減額でございます。

28ページ上段、スポーツ振興事業です。主にスポーツ推進委員、スポーツ普及員の業務内容でございます。スポーツ推進委員の2年の任期が切れるということで、来年度は新しく迎える方、継続する方もお見えになるかと思えます。普及員についても2年の任期でございますけれども、半分半分の交代でございますので、全員同時に入れ替えというようなところはございません。

下段、スポーツ団体支援事業です。スポーツ教室、スポーツフェスティバル等の内容でございます。特に来年度につきましては、スポーツ協会50周年の記念事業を迎えるということで、50万円ほど補助という形で載っております。

29ページ上段、学校施設開放事業です。登録者数については150団体と、コロナ禍の影響で学校を利用する方が非常に少なくなっているのかなというところでございます。予算については同額程度でございます。

スポーツ課長

文化財課長

下段、スポーツ大会開催事業です。各種スポーツ大会の開催、スポーツ教室の開催と書いてございますが、コロナの影響によって中止のものがたくさんございましたけれども、来年度につきましても同じようなものをぜひやっていきたいなど、そのように思っております。

30ページ上段、スポーツ大会支援事業です。トライアスロン伊良湖大会、オフロードトライアスロン大会、中部・北陸実業団駅伝、そして渥美半島駅伝大会の支援の内容でございます。若干減額となっておりますけど、変わりなくやっていきたいとそのように考えております。以上でございます。

文化財課です。

文化財課は、所管施設が結構年数を経過しておりまして、改修工事等がありますので、昨年度と比較して2,500万円ほど増額している予算になっております。

31ページ上段、埋蔵文化財調査事業です。こちらは、引き続き埋蔵文化財の基礎資料の整理、市内遺跡調査、貝塚群を国庫補助事業をいただきながら補助率50%ですけれども、行っていくものでございます。

下段、文化財保護事業です。こちらにも市内にあります文化財を適正に保護、保存をしていくという予算になっておりまして、環境整備、草刈りとか案内看板の修繕等を行っていく予算でございます。

事業費内訳中の委託料に、リーフレットデジタル化業務とございます。これにつきましては、渥美半島の文化財というパンフレットがあるのですが、そちらのほうをデジタル化しまして、紙ベースの印刷はなくしていこうという方針で計上してあるものでございます。

32ページ上段、吉胡貝塚公園運営事業です。吉胡貝塚史跡公園を管理運営していくための予算でありまして、例年とほとんど変わっておりません。

下段、博物館運営事業です。来年の博物館企画展は、事業の見直しによって、通年は2本やっていたところを1本にしました。内容は、「海から広がる渥美半島の世界展」ということで、海をテーマに企画展を1本、それから一昨年常設展示化をさせていただきましたふるさとの歴史の中からテーマを決めながら展示をしていくという予定になっております。

施設改修の予算についても計上してありまして、博物館企画展示室1の照明LED化工事、これはゼロカーボンにもつながるものになるのですが、一番大きな展示室の照明をLEDに替えていくという工事と、それから収蔵庫1というところの空調設備の改修工事、これは加湿器の改修になります。

それから博物館をデジタル化していこうということで、Wi-Fi環境の整備ということで、無線LANの設置工事を計上してあります。Wi-Fi環境を整備して解説アプリ等を導入しながら、このコロナ

にも対応した事業を行っていかうとしているものでありまして、事業費内訳の使用料及び賃借料というところの行を見ていただきますと、収蔵品管理システム使用料というのがございます。これは、既存の管理システムを使いながら、現在、台帳を紙ベースのものとエクセルとかそういったもので管理しているところを、デジタルベースにしまして、これをやることによって博物館等の解説アプリ等にも活用できるというものになっております。

33ページ上段、池ノ原会館運営事業です。こちらのほうは指定管理によって館を維持していくというものでございます。

下段、鞆山会館運営事業です。こちらのほうも指定管理者によって指定管理をお願いしながら適正な管理運営を行っていくものでございます。こちらのほうには、公益財団法人鞆山会の文化事業への補助がございます。新規事業といたしまして、鞆山会館のレセプションホールの音響設備が、現在故障した状態で、なかなか使いにくい状態になっておりますので、そちらの改修を行うという工事、それから先ほどから言っているトイレの洋式化関連の工事を実施するものでございます。

以上です。

図書館長補佐

図書館費について説明させていただきます。

34ページ上段、図書館運営事業です。市内の図書館3館及び市内の小学校を巡回する移動図書館車2台の管理運営と、生涯読書振興に関するものになります。令和4年度の予算案額は1億1,755万4,000円です。令和4年度の新規事業の主なものは2点ございます。

1点目は、中央図書館等空調設備の更新に伴う導入調査の委託事業です。2点目は、たはLabによるデジタル人材育成事業です。令和2年度より中央図書館に、たはLabというプログラミング体験コーナーを設置し、子ども向けのプログラミング講座を実施してきましたが、来年度はさらに内容を充実させて、未来の田原市を担うデジタル人材の育成を目指すものになります。

下段、図書館資料収集事業です。こちらは、市内の図書館及び移動図書館車のサービスに必要な資料の収集整理を行うものです。令和4年度の予算額は2,213万4,000円です。市民の多様なニーズに応える資料の提供と経費の抑制を両立させるために、資料費の効率的な使用と雑誌スポンサー制度の導入により、財源の確保の工夫などに努めてまいります。

以上で図書館費の説明とさせていただきます。

教育部長

教育費の予算について説明させていただきました。

各担当、日頃から財政課との調整、予算のヒアリング等での適切な説明によって、微力ながらかなりの予算確保ができたのではないかと思います。本当に職員の今回努力の成果かなというように思っております。

教育長

ますので、よろしく願いいたします。

事務局の説明が終わりましたので、何かご質問等ございましたら出していただけたらと思いますがいかがでしょうか。

太田委員

2点お願いします。

1点目は、教育総務課の7ページ中学校管理運営事業の中で、委託料のところに泉中学校解体工事設計業務というのが計上されているのですが、泉中学校の解体は、全て解体をするのか、また跡地はどんなふう利用するのか、その辺りが決まっておりましたら教えていただきたいと思います。

もう1点は、生涯学習課の23ページ江比間野外活動センター運営事業で、歩道橋が老朽化ということは思っていましたけど、歩道橋はあの施設から海岸のほうへ259号線を横断していく歩道橋だと思います。この歩道橋を撤去した場合に横断の方法は、入り口のところの横断歩道まで行くのか、代案はどういう形で考えられているのかなという点と、現在横断利用は少ないのか、利用はどのような状況だったのか。ただ撤去するだけなのか、あるいは、横断の方法を新たに考えておられるのか、その辺りの説明をお願いいたします。

教育総務課長

それでは、1点目、泉中学校の解体工事の設計委託についてでございます。来年度の予算作成時までには、泉校区のほうで利活用の検討をしっかりと進めていきたいと思っております。今年度もお互いに情報交換したり、どんな利活用があるかというのは調整をしているわけですが、来年度何とか夏過ぎまでに用途を決めて、ただし地元が利活用する場合、校舎は必要ないでしょうし、持つことも法的にできませんので、どこまで残してどこまで壊していくかというのは、しっかりと調整をした上で設計をして、できれば再来年度に工事施工という、そんなスケジュールを描いております。泉校区とはここはしっかりと調整をさせていただきたいと思っております。

生涯学習課長

2点目、江比間野外活動センターの歩道橋についてです。

江比間の野外活動センターに聞いたところ、渥美方面から来た人達が、あの歩道橋を使うそうです。高校の部活で、体育館が取れなかった場合に、あそこで卓球部だとかが使うときに歩道橋を使うということで、歩道橋を使う頻度というのはかなり少ないと思われそうです。

もう1点、なくなった場合の代替策ですけれども、まず豊橋方面から来た場合につきましては、バス停を降りてすぐにセンターへ上がる道がありますので、そのまま上がります。渥美方面から来た場合につきましては、大変申し訳ないですけど200メートル弱歩いていただきますと、横断歩道がございますので、そこを渡っていただくというようなことを考えております。

太田委員

海岸へ下りるところというのは。

生涯学習課長

下りるところにつきましては、実は平成27年か28年にそちらの部分

太田委員
教育長
高崎委員

は同じように老朽化で取り壊してしまっていて、もうございません。
わかりました。

そのほかいかがでしょうか。

生涯学習課長

生涯学習課の児童クラブ運営事業として、学童システムの試験導入とおっしゃっていたのですが、その専用アプリを使って保護者との連携を図るといのは、具体的にどういう感じで進めていくのですか。

例えばタブレットが設置してありまして、お子さんが来るとICカードなのか自分の名前を押すと児童クラブに来ましたよとなります。保護者はその専用アプリを入れることによって、自分の子が何時何分に入室したというのが届くといった格好になるものでございます。

学校等で午後から警報が出たとき等に、学校からのメールでは迎えに来てくださいというメールが届きます。そのときに実は自分の子は、児童クラブに行っているのか、学校にいるのかというのが、今の状況だと分からない。でもその入室メールが保護者に届けば、私の子は今、児童クラブにいるんだなということで、学校に迎えに行くことなく、児童クラブに迎えに行くことができるのか、そういった利便性の確保、うちの子はちゃんと行ってるなとかいうことが分かる、そのようなものでございます。

高崎委員

ありがとうございます。

文化財課長

次に、博物館の解説アプリというのはどういったものですか。

具体的に言いますと、展示のケースの中にQRコードをつけてある解説板を入れまして、それを読み取ってもらって、音声も出るようになってるものです。

高崎委員

専門のアプリ開発の方にそういったものをつくっていただくのですか。

文化財課長

そうですね、そこのクラウドを借りてというものです。

高崎委員

ありがとうございます。

あと1点、図書館の子ども向けのプログラミング教室は、今の時代に合って素晴らしいと思うんですけど、たはLabとはどういったものですか。

図書館長補佐

年に何回か、パソコンのプログラミングの仕組みを勉強をしたりとか、あとロボットを使って簡単なものを動かしたりとかというのをやっているのですが、それを一歩踏み出して、もう少しタブレット端末だとか、プログラミング教育をどんどん普及させていこうというものになっております。

高崎委員

ありがとうございます。

教育長

そのほかいかがでしょうか。

金田委員

先日、スポーツクラブで、田原で渥美半島一周100キロマラソンみたいなポスターをみまして、田原市教育委員会がスポンサーみたいなものになっていたのですが、そういったものはどこら辺の予算から出る

スポーツ課長

のでしょうか。

4月16日の土曜日に渥美半島ネイチャーランというのも実施するんですけども、令和4年度予算には反映しておりません。補助金等の支給はなく、あくまでも民間主導型でやっていただくというものです。

教育長

田原市の後援と教育委員会の後援が出ております。

この場は一応ここまでということにさせていただいてよろしいでしょうか。

それではお諮りさせていただきます。

議案第2号「令和4年度一般会計教育費予算について」、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

教育長

(異議なし)

では、ご異議なしということで議案第2号につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に、議案第3号「田原市文化財の指定について」を議題といたします。

文化財課長

事務局の説明をお願いします。

文化財課です。

田原市文化財の指定について、田原市文化財指定を別紙のとおり指定するものとする。令和4年2月17日提出、教育長名でございます。

1枚はねていただきまして、指定する物件ですが名称は、畠村萬附留日記、種別が古文書、指定番号が古文書の古の5番、数量が一括で103点になっております。

所在といたしましては、渥美郷土資料展示収蔵館という施設に保管をしているものでございます。指定年月日につきましては、本日付けで指定をしていきたいということを考えております。

もう1枚はねていただくと、令和3年11月10日の定例教育委員会で、文化財保護審議会に諮問をお諮りいたしまして、お認めをいただきました。その結果、12月22日に田原市文化財保護審議会を開催いたしまして、審議をしていただいた結果、畠村萬附留日記が田原市文化財(古文書)に指定すべきものと認めるという答申をいただいております。これを受けての本日の議案となっております。

参考資料がつけてあります。こちらのほう、諮問をお諮りさせていただくときに説明をさせていただいているものですから、本当に概要だけ説明をさせていただきます。

概要の中段の下線部のところをご覧ください。

畠村萬附留日記は、渥美半島における政治・行政・経済・社会のひとつの中心地であった渥美郡畠村、現在の福江町がほぼ同じ地区になるのですが、畠村の出来事を書き留めた村日記であります。時代といたしましては元禄年間、元禄3年から明治22年までが対象にしてあるということになっております。

教育長

最後に103点が、どのようなものでどのような状態であるかというリストがつけてございますので、こちらもこんなものがあるということでご覧頂ければと思います。

以上となります。よろしくお願いいたします。

事務局の説明が終わりました。

ご質問等ございますでしょうか。

ご質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第3号「田原市文化財の指定について」、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議なしということで議案第3号につきましては、原案どおり可決いたしました。

続いて、報告事項に入りたいと思います。

文化財課長

教育長。

教育長

はい、どうぞ。

文化財課長

急遽で申し訳ないですが、本日、市議会提出案件の「田原市池ノ原会館の指定管理者の指定について」と「田原市崙山会館の指定管理者の指定について」の2点に対する意見について、議案をここで上程させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

教育長

ただいま文化財課長から市議会提出案件「田原市池ノ原会館の指定管理者の指定について」と「田原市崙山会館の指定管理者の指定について」の2点に対する意見について、議案の上程したい旨の提案がありました。これを了承することに、ご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議なしということで、「市議会提出案件（田原市池ノ原会館の指定管理者の指定について）に対する意見について」を議案第4号、「市議会提出案件（田原市崙山会館の指定管理者の指定について）に対する意見について」を議案第5号といたしますので、事務局は議案の配付をお願いします。

では、まず議案第4号「市議会提出案件（田原市池ノ原会館の指定管理者の指定について）に対する意見について」、事務局の説明をお願いします。

文化財課長

議案第4号、市議会提出案件田原市池ノ原会館の指定管理者の指定についてに対する意見について。別紙のとおり田原市池ノ原会館の指定管理者の指定について、意見を求める。令和4年2月17日提出、教育長名でございます。

提案理由といたしましては、令和4年4月1日から田原市池ノ原会館の管理運営を指定管理者に行わせるため、指定管理者の指定について議会に提案するものでございます。

1枚はねていただきまして、池ノ原会館の指定管理者の指定につい

教育長

て、指定管理者を下記のとおり指定する。

公の施設の名称につきましては、田原市池ノ原会館。指定管理者となる団体につきましては、公益財団法人崙山会でございます。

指定の期間といたしましては、令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間となっております。

以上です。

事務局の説明が終わりました。

ご質問等はございますでしょうか。

ご質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第4号「市議会提出案件（田原市池ノ原会館の指定管理者の指定について）に対する意見について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（異議なし）

教育長

では、ご異議なしということで議案第4号につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に、議案第5号「市議会提出案件（田原市崙山会館の指定管理者の指定について）に対する意見について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いします。

文化財課長

議案第5号、市議会提出案件田原市崙山会館の指定管理者の指定についてに対する意見について。別紙のとおり田原市崙山会館の指定管理者の指定について、意見を求める。令和4年2月17日提出、教育長名でございます。

提案理由につきましては、令和4年4月1日から田原市崙山会館の管理運営を指定管理者に行わせるため、指定管理者の指定について議会に提案するものでございます。

1枚めくっていただきまして、先ほどの池ノ原会館同様、公の施設の名称といたしましては、田原市崙山会館、指定管理者となる団体につきましては、公益財団法人崙山会でございます。

指定の期間といたしましては、令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間となっております。

以上です。よろしく申し上げます。

教育長

事務局の説明が終わりました。

ご質問等はございますでしょうか。

ご質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第5号「市議会提出案件（田原市崙山会館の指定管理者の指定について）に対する意見について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（異議なし）

教育長

では、ご異議なしということで議案第5号につきましては、原案どおり可決いたしました。

教育長

続いて報告事項に移りたいと思います。

それでは、教育委員の皆様方の連絡報告事項を順次お願いしたいと思います。

初めに高崎委員からお願いいたします。

高崎委員

私は、当初2月9日、令和3年度愛知県市町村教育委員会連合会第3回理事会に出席する予定でおりましたが、このコロナの影響で書面開催となりました。議題がございましたけれども、役員総数25人、決議書提出数25人、うち賛成25人、反対ゼロということで、賛成多数により可決されました。

その他出席させていただいた行事はございませんが、テレビでリトさんの特集をやっている様子を見て、最後にリトさんの言葉で、「誰にでも優しく、そして弱い存在を邪険にせず見捨てない温かい世界を表現する」というお話を伺い、胸が熱くなりました。リトさんの葉っぱを製作する課程ですとか、それから作品を見ていらっしゃる方が涙ぐんでいらっしゃるけれども、こうした毎日、毎日、葉っぱに細かい作業を4時間、集中してされるということはすばらしいなと思いました。そして、テレビの最後にナレーターから「自分を肯定することで見つけた道を、リトはこれからも丁寧に歩み続ける。」とあり、この「丁寧に」という言葉に自分を反省した次第でございます。

本日皆さんがそれぞれ予算案を大変苦勞なさって作成していただき、こうしてみんなの義務教育の幸せがあるんだな、当たり前のように思っている義務教育だったり、地域のことだったり、そういうことがあるんだなということを私、改めて市民の皆さんにも知っていただけたらうれしいなと思いました。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

続きまして、金田委員お願いします。

金田委員

教育委員としては活動はなかったんですけど、今月、東山動物園やのんほいパークに行ったんですけど、のんほいパークは、象1頭のオーナー制だったりとか、東山動物園に行くと人気のある動物のスポンサーということで、あぁいった公共団体も、図書館さんもやっているんですけど、スポンサー制も取り入れていて、運営をもっとよくしていこうという、そういった姿勢を見させてもらって、いいことだなとそう感じました。

自分からは以上です。

教育長

ありがとうございました。

続いて、太田委員お願いします。

太田委員

私は、先日の定例会の後、奨学金受給者選考委員会に出させていただきました。これは、先ほど教育総務課から予算について説明があり

ましたけれども、高等学校等生徒支援事業の中のもので、恵まれない家庭環境の中で、学力、人物共に優秀な生徒の高校進学を支援するという事業でございます。

ここ数年、この会議に出させていただいて、やはり応募する生徒が少ないということで、この事業のPR方法だとか、基準等の見直し等、せつかくのこういった事業ですので、活用できるようなそういう方向でご尽力いただければということを経験の中でお話しさせていただきました。

もう1点は、このコロナの状況下で、学校は学級閉鎖、学年閉鎖等行われて、教育委員会、学校、教職の先生方、大変対応に苦慮されたのではないかなと思います。ただまだ油断は許さない状況ですけれども、学校の教育活動が停止することなしに何とかやれているのは、皆さん方のご尽力かなというように思います。

その中で、私も直接的ではありませんけれども、孫の通っている学校で学校閉鎖があったものですから、保護者、児童、生徒の立場で言うと、このコロナが本当に身近にあるということで、その対応、あるいは健康面だけではなくて、閉鎖された時間の中で平常とは違う時間をどのように過ごしていくかということで、各家庭では大変苦慮されているのではないかなと思います。特に、保護者の方はお仕事を持ってみえる方も多いと思いますけれども、急な学校、学年閉鎖ということで、子どもへの対応が苦慮されたのではないかなと思います。また、学校・学級閉鎖が終わってからも、休んでいる子たちにWeb授業などもやってみえるということで、いろいろな面でいろいろな方々、それぞれの対応をやってみえて、何とか活動を停止させることなく、やってみえることに大変敬服いたしました。

以上です。

ありがとうございました。

最後に天野委員お願いします。

私も教育委員の活動はございませんでした。

太田委員と同じく、本当に日々10代とかお子さん方の感染者数が増えるたびに、現場の先生方や皆さんのご苦勞を思うとともに、ご尽力に感謝をしております。

そんな中で、地元の福江地区と清田地区で「つるし飾りロード」ということで、赤いのれんがかかり始めまして、私の散歩コースでもある免々田川沿いの桜も1輪、2輪少しずつ咲き始めました。大変な中でも、そういった活動も毎年続けていらっしゃるんだなと思いました。先日、福江中学校のコミュニティスクールの定例会に行った主人から聞いたんですけれども、いろいろなことができない中でも、来年度に向けた職場体験の希望を生徒達に聞きながら、自分達が地域との懸け橋になって、研修先を探すお願いをされたということで、学校現場の

教育長

天野委員

皆さんも大変な制約のある中で、行事を進めていってくださるんだなと、少し前向きな話を伺いました。できる限りの対策をしながら活動を止めることなく私たちも協力したいなと思います。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

次に、報告事項（２）小中学校への寄附について、事務局から報告をお願いします。

教育総務課長

それでは、令和３年度教育関係の寄附一覧表をご覧ください。

９番目です。１月２４日に伊良湖岬小学校ＰＴＡ様から伊良湖岬小学校へ教育の充実のためとして、動力噴霧器を１台いただいております。１１万５，０００円相当の金額でございます。

以上です。

教育長

ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。

ご質問等もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長

次にその他であります、事務局から何かございますでしょうか。

教育総務課長

次回の日程ということで、第３回定例会を３月１７日木曜日１時３０分から、北庁舎の３階の３００会議室で行いますので、よろしくお願ひいたします。

私からは以上でございます。

教育長

では、スポーツ課をお願いします。

スポーツ課長

２月６日に開催された別府大分毎日マラソンで、田原市民の西山雄介選手が優勝しました。その懸垂幕を現在市役所の前に設置しておりますので、またご覧になっていただけたらなと思います。

以上でございます。

教育長

図書館、お願いします。

図書館長代理

「たはらとLeaf」を配布させていただきました。２月、３月にかけて実施する予定が掲載されていますので、ご覧ください。

以上です

教育長

そのほか事務局のほうから。

学校教育課長

例年教育委員の皆様には卒業式で告辞をお願いしておりますが、本年度はまん延防止重点措置が延長されたり、こういう状況ですので、卒業式については、告辞については読み上げないということで、小学校、中学校共に校長先生にはお伝えしてあります。

ただ、卒業式への出席はぜひお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

教育長

今の件はよろしかったですか。

教育委員会として責任を持って見届けるというような、参列はするというようにさせていただきます。ただ、卒業式での感染を防ぐた

め、できるだけ短い時間で行うということで、読み上げないというようにさせていただきましたので、ご了承いただきたいと思います。

そのほか事務局のほうからいかがでしょうか。

それでは、委員さんのほうから何かございましたらお願いします。

特にないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。

これをもちまして田原市教育委員会第2回定例会を閉会とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

閉 会 午後15時30分

(会議録署名人)

教育長

委員

委員